

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいデイサービス あすなろクラブ鍋島			
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日	～	令和8年2月10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日	～	令和8年2月10日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化された環境設定のもとスケジュールやワークシステムなどを活用した視覚支援を行っている。 ・ボックスなどのコミュニケーションツールを活用した支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より刺激の統制が必要な場面では可動式のパーテーションで対応している。 ・個々のツールは、アセスメントを元に成長に合わせて再構造化している。 ・他事業所や家庭と連携し統一した支援を行うことで、汎化や学びを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での勉強会や外部の研修会参加を重ね、職員のスキルアップを図っていく。 ・柵や床マットを活用した、より自然に構造化された空間も検討していきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇や土曜日には積極的に外出活動を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出時のスケジュールは、個々が見通しを持って安心して参加できるように個別化して設定している。 ・外出前には、約束事として公共の場でのルールやマナーを伝えている。帰所後に振り返りの時間を設けている。 ・怪我なく安全に楽しめることを第一に、個々の課題や特性に合わせて外出先を決定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出先の新規開拓をしていく。 ・外出時の職員配置数をさらに充実させる。 ・保護者様へ外出時の写真やプログラムをお渡しし、ご家族での外出先の拡がりにつなげていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様同士で交流できるママズルームというコミュニティがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加希望の保護者様がいらっしゃるときは、他の保護者様にも声を掛けて参加を募っている。 ・先輩保護者様に声を掛け、ご自身の経験や情報発信もしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加してもらえるように、個人情報には十分配慮したうえで活動の報告を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士や言語聴覚士などの専門職が在籍していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の方の知識や技術を生かせる魅力的な環境や取り組みの周知ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員確保のため、積極的な求人活動や広報活動を行う。 ・支援会議などで作業訓練や言語訓練での取り組みをお聞きし、事業所でも取り組みそうなことは積極的に取り入れていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・思い切り運動することができないため、体を動かすことで発散になるお子さんにとっては満足につながらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の構造上、運動できる広いスペースの確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇や早めの下校の際は、公園や運動施設に出かけ体を動かす機会を設ける。 ・運動以外の余暇活動を充実させ満足につなげる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜祝日の営業をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜祝日に勤務可能な職員の確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員確保のため、積極的な求人活動や広報活動を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		みらいデイサービス あすなろクラブ鍋島				公表日		令和 8年 4月 1日	
						利用児童数		27名	
								回収数 22	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1		1	エリア分けされていてわかりやすいと思う。	活動内容に合わせたエリア設定を再考していきます。 見学の機会を設けていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		3	活動によってエリア分けされていており、わかりやすい環境だと思う。	玄関に職員配置を提示しています。 お子様の状況に合わせた職員配置を見直します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1		1	子どもの空間を最近見てないので機会があれば室内を見てみたい。	範囲でバリアフリーに努め、危険がないように配慮していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1			モニタリングや普段の送迎などで子どもの様子を伝えてもらっている。	見学の機会を設け、保護者様に安心してもらえるように努めます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1		面談時に丁寧に説明をしていきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2				個々の興味関心や課題に合わせて、活動設定するように努めます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	4	9		定期的に大学生や他事業所の子どもたちとスポーツをする機会を設けています。 周知に努めます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				説明を受けた。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	1	7	そういう機会があれば教えてほしい。	相談機関の紹介や研修会の案内を積極的に行っていきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22				活動や本人のその日の様子がアプリで写真付きで見れてよい。 送迎の時やデibroで教えてもらっている。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22					モニタリングの時期以外にも、ご相談や気になる様子があった時には助言や面談の機会を設けていくように努めます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				話を聞いてもらったり、子どもが困ったときに寄り添ってもらっている。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	3	5		月に一度、「ママズルーム」という保護者さま同士の交流の場設けています。 周知に努め、参加しやすい雰囲気づくりに努めます。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20				2	苦情や相談があった時には迅速に職員間で共有し、対応していくように努めます。また、対応策について周知説明する機会を設けていきます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22				アプリやLINEにてやりとりができて便利で様子もわかり、助かる。その都度、どのように子どもが伝えたらいいのか対応してもらっている。	保護者様と連絡帳やライン、送迎時に丁寧に情報共有するよう努めていきます。子どもたち個々に合わせたコミュニケーションツールも充実させていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22					今後も周知に努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1	書類をいただきました。	取り扱いには、十分注意していくように努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		7		通信やホームページでの周知に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		8		通信やホームページでの周知に努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		3		今後も定期的に安全訓練や危険個所の確認をしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1		2		今後も定期的に安全訓練や危険個所の確認をしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				もちろん、いつも温かく寄り添っていただいています。あすなろの先生に楽しかったことはもちろん困りごとなど何でも話すことができます。	どのお子様も個々のペースで楽しく安心して過ごせるような活動設定や環境作りに努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22				楽しみでしかたないようです。実際に「楽しかった」と言って帰ってきます。あすなろをととも楽しみにしています。先生たちと会えるのが嬉しいそうです。	どのお子様も個々のペースで楽しく安心して過ごせるような活動設定や環境作りに努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			いつも笑顔で接していただき、話を聞いていただきありがとうございます。暖かく見守っていただき、感謝しております。大満足です。適度な距離感で子どもと向き合い、困った時は寄り添ってくれ、ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。大変満足しております。	今後も保護者様や各関係機関と協力し、共通理解のもと、より良い支援が出来るように努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらいデイサービス あすなるクラブ鍋島				公表日	令和 8 年 4 月 1 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		その日の利用人数やこどもの状況に合わせた職員配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		パーティションを活用し、活動に合わせてエリア分けしている。一部、バリアフリーではないが、フロアマットやぶつかり防止クッションを設置して安全に配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		朝と終礼時、掃除と消毒を行っている。可動式のパーティションを準備し、個々の活動に合わせて空間を設定している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		休憩室やパーティションを活用した個別スペースを設置している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		定期的に振り返りの場を設け、共通理解のもと支援に当たっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者様よりご意見をいただいた時は職員全員に周知し、改善を行うように心掛けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に面談を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		現時点では外部評価は行っていないが、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業所内での勉強会や事例検討の機会を設けたり、外部の研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメントをとり、保護者様からの聞き取りや関係機関との情報共有を行って作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		話し合いの場を設け、意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		定期的にあセスメントを行い、興味関心の高い活動も組み込んでいる。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		集団活動においては、まずは空間を共有することや一部分だけの参加から始めるなど、個々に合わせた設定にしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		気付きや特記事項は昼礼時や終礼時に共有している。また、その日不在の職員にも、ケース記録にて共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎回、気付きや特記事項はケース記録に記入している。課題がある時は適宜ミーティングを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一回モニタリングを行い、計画の見直しをしている。課題がある時は、都度見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		個々に合わせて選択ボードやコミュニケーションカードなどのツールも活用し、発信の機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		ホームページ確認や保護者様を通して情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		移行支援会議には積極的に参加をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		保護者様からの要望に応じ支援会議の開催や情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9		利用児童の特性に配慮しながら、今後機会があれば交流していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		放デイ連絡協議会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時や連絡帳を通して、情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		相談があった時は、適宜助言や相談機関の紹介を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		モニタリング面談を行い、情報を共有している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		半年に一回以上見直しを行い、面談を実施し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		助言や相談機関の紹介、関係機関での支援会議の開催を提案している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9		月に一度、ママズルームという保護者様同士の交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情受付の際のマニュアルに沿ってすみやかに対応する体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		2か月に1回の通信発行やInstagramなどでの発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		個々に合わせたコミュニケーションツールを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		今後、検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルは職員に周知し、いつでも確認できるように掲示している。 発生を想定した訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		毎年、設定を変えて実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者様とも連携をとり、対応するようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット事例があった時は全事業所で共有し、改善策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的に、事業所内や外部の研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		契約時の重要事項説明書に記載をし説明している。危険回避のためにやむを得ず身体拘束を行う場合は支援計画書に記載するようにしている。		